

概要

360ip は、国際的知的財産権への投資と資金運用を行う会社です。本社はシンガポールにあり、アジアとアメリカ合衆国のあらゆる地域に多くの拠点を持っています。360ip は、卓越した研究機関、大学、企業など（以降、総称して「提携機関」）の所有する革新的な技術の価値を最大限に高めるために、技術の事業化を独占的に行っています。また、これらの技術資産の商業化を実現し、利害関係者にとっての価値を最大限に高めるために、関連業務の専門知識に加え、投資資本、資源、すで実績のあるプロセスを提供しています。

バテルとの関係

360ip は、バテル、バテルの系列ベンチャー・キャピタルであるバテル・ベンチャーおよびイノベーション・バレー・パートナーズによって設立されました。360ip は提携機関に対し、知的財産権のための分析、成熟および事業化のサービスをバテルと協力して行います。1929年にオハイオ州コロンバス市で創業したバテルは世界トップレベルの、非営利独立研究開発機関であり、技術事業化を行う組織です。年間収入は45億米ドルを超え、併せて2万1千人以上の従業員が世界中の拠点で働いています。バテルは、R&Dのマネジメントと事業化において、長年にわたる実績と専門的知識を持っています。バテルの業務および提携は、360ipの活動が行われている地域を含め世界中に広がっています。バテルのアジアにおける国際業務は、360ipの営利業務を補完し、提携機関の知的財産権から国際的な価値を創造します。

バテル・ベンチャーとイノベーション・バレー・パートナーズの2社で255百万米ドルの資産を管理しており、また、優れた研究機関が所有する知的財産権への投資に有用な専門知識を活用して、さまざまな業種にまたがる技術投資に貢献しています。

提携機関へのアプローチ

360ip は、高リターン期待できる革新的技術のライセンス供与、技術熟成、およびその技術へのベンチャー・キャピタル投資によって、商業的な成功を確かなものにします。360ip 独自の4段階のプロセスを活用して将来有望な技術を見定め、事業化し、利益を上げられるようにします。

対象市場

360ip が世界の中で最初に最も重視する市場はアジアです。なかでも中国、インド、日本、韓国、マレーシア、シンガポールなど、特にバテルの存在感が強い国々となります。

経営陣

360ipには技術を鑑定し、事業化して利益を上げることに豊富な経験を持っている経営陣が揃っています。360ipの持つ確固たるスキルセットには、ライセンス供与、ベンチャー・キャピタル投資と資金運用など、技術の事業化・利潤追求に関する最高の専門知識が含まれます。知的財産権の評価と高付加価値商業資産への転換についての豊富な経験を生かし、市場機会を見逃さず、利益向上を推進します。

優位性

360ipのポートフォリオはグローバルな事業化提携を進めることによって広がっています。その提携機関は、知的財産権開発、技術開発、事業化と利潤追求において多くの成果と実績を上げています。先駆的なイノベーションの例としては、コンパクト・ディスク、革新的なナノテクノロジーの発見、次世代の太陽光発電、斬新な医療の進歩、製造工程における飛躍的な進歩、最先端の情報技術などがあります。

連絡先

より詳しくお知りになりたい場合には、下記宛てにご連絡ください：

Glenn Kline, 社長兼 CEO
glenn@360ip.com or (65) 6595 1800

Caroline Wee, 投資担当責任者
caroline@360ip.com or (65) 6595 1800